

平成30年度

練馬区教育予算等についての要望書

練馬区小学校PTA連合協議会 予算委員会

重点要望項目

子供たちの教育環境の充実のために

教員の事務支援人員の拡充

結果として

教員が子供と向き合う時間の創出

教員の事務支援人員の拡充

学校教育現場でのヒアリング結果

現在の学校では教員の本来業務以外の業務負担が非常に多くなっていると感じる

例① 会計業務—学納金の集金・集計・報告業務

例② 印刷——ワークシート・学校便り等の印刷

例③ 掲示物——校舎内掲示物の張替など

例④ 配布——区からのお便り等の配布業務

現場からの期待

上記のような、本来教員でなくとも行うことが出来る業務を代行してもらえる職員がいれば、一日30分程の時間、今よりももっと児童と向き合うことができる

教員の事務支援人員の拡充

課題

勤務時間が慢性的に長時間⇒**60H/月以上の残業**
 教員が子供と向き合えない⇒**教育の「質」が低下**

平日（教諭のみ）	単位(時:分)	
	小学校	
	時間	割合
朝の業務	0:35	5%
授業（主担当）	4:06	37%
授業（補助）	0:19	3%
授業準備	1:17	12%
学習指導	0:15	2%
成績処理	0:33	5%
生徒指導（集団）	1:00	9%
生徒指導（個別）	0:05	1%
部活動・クラブ活動	0:07	1%
児童会－生徒会指導	0:03	0%
学校行事	0:26	4%
学年・学級経営	0:24	4%
学校経営	0:22	3%
職員会議等	0:22	3%
個別打合せ	0:04	1%
事務（調査回答）	0:01	0%
事務（学納金）	0:01	0%
事務（その他）	0:15	2%
校内研修	0:13	2%
保護者・PTA対応	0:07	1%
地域対応	0:01	0%
行政・関係団体対応	0:02	0%
校務としての研修	0:13	2%
校外での会議等	0:05	1%
その他校務	0:09	1%
合計	11:05	100%
黄色合計	0:36	5%

- 勤務時間の内、児童への指導以外の業務
 - 36分/日(5%)⇒教員20人/校とすれば、1.5人分の業務量

＜資料1＞文部科学省 教員勤務実態調査（平成28年度）より
 平日1日当たりの業務内容内訳(教員のみ)

教員の事務支援人員の拡充

課題

教員が行っている事務処理作業に係る仕事量が過分なため、本来の職務に専念する時間が削られている

課題解決の方策

- 教員の事務処理負担の軽減のために新たな事務支援人員を配置する
- 区内小学校の事務処理を集中化し共同実施体制を構築する

教員の事務支援人員の拡充

要望

教員の労働環境を改善し、児童と向き合う時間をこれまで以上に創出することによって、指導の質の向上を目指すために、以下の事を要望致します。

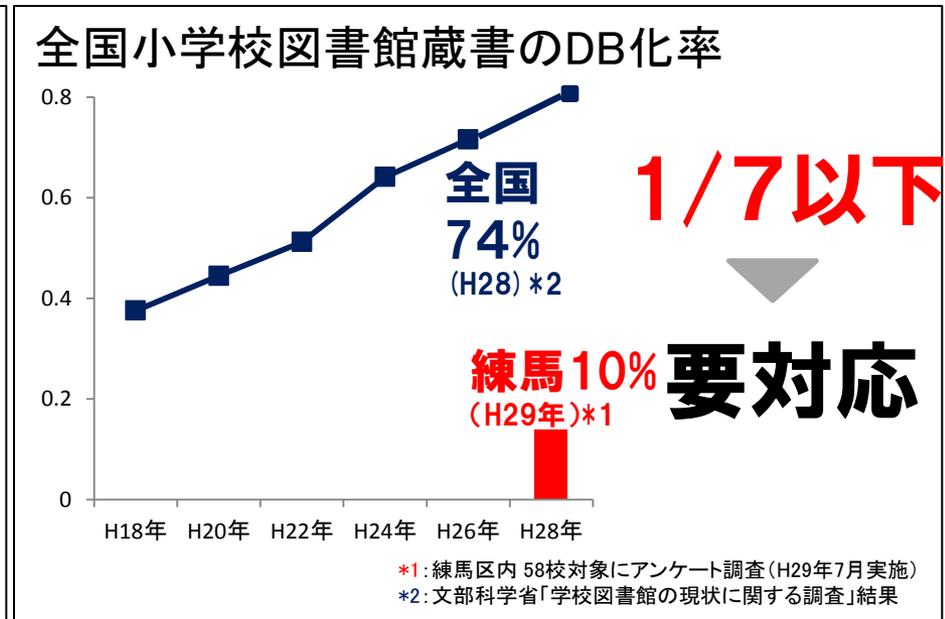
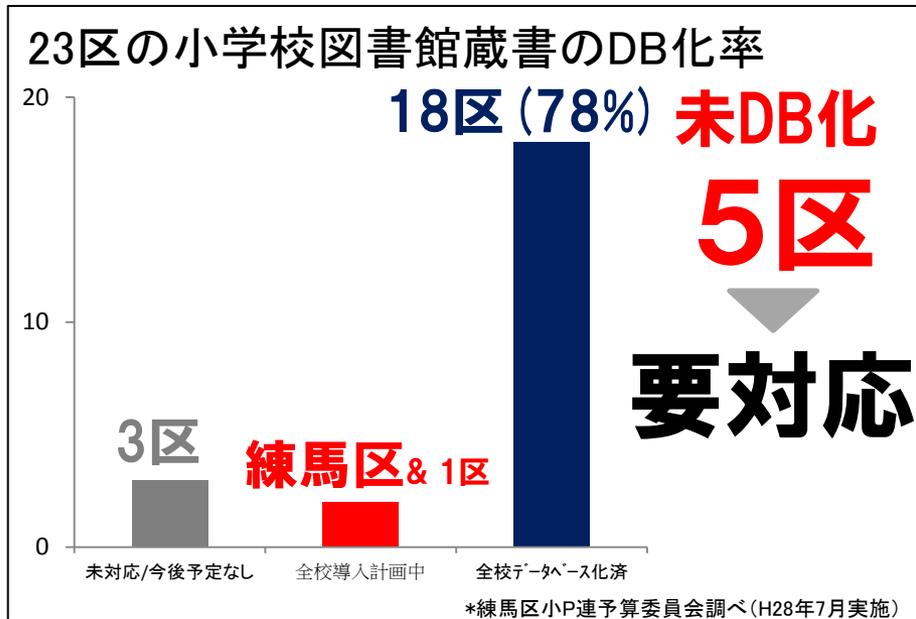
- ① 教員の学校事務処理の負担を軽減するため事務支援人員の加配
- ② 区内小学校の学校事務共同実施体制構築

重点要望項目

子供たちの教育環境の充実のために
学校図書館の蔵書のデータベース化

学校図書館の蔵書のデータベース化

◆蔵書のデータベース（DB）化進捗状況



23区、全国との比較で、DB化の遅れは明らか。早急な改善を！

学校図書館の蔵書のデータベース化

◆現状の不満とデータベース化への不安の声

■現状の不満

原簿と実本の相違があり、原簿の正確性に不安。
原簿にある本が図書館にない時探すのが大変。
読書記録が残らず、統計が取れない。
蔵書点検に時間と労力がかかりすぎる。
読みたい本、使いたい本が探しにくい。
返却の有無がすぐにわからない。

■導入予算の問題

PC、ソフト、機器の導入と、導入にかかる人件費等の予算の心配。

■運用メンテナンスの問題

個人情報を守られるのか、子供たちに情報は漏れないか。
システムトラブルなどで、貸出・返却が出来ないということが発生しないか。



「予算化」
と
「DB化と
運営の
業務委託」

学校図書館の蔵書のデータベース化

◆データベース化を自校で行った場合

**教員、ボランティアの協力が必要となり
膨大な時間や労力がかかる**

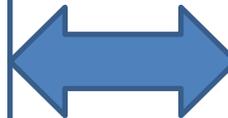
導入作業負担への不安 (アンケート結果より)

自分たちでバーコードを貼り、データ入力
をすることへの不安。

「作業は業者をお願いしたい」の声。

日々の業務の忙しい教員へは頼めず、希
望したくてもそのまま管理するしかない
という現状。

データベース化可能なPCの不足。



～実際の作業の流れ～

- ① 廃棄本の整理
- ↓
- ② 本の汚れ落とし(クリーニング)
- ↓
- ③ バーコード作成・印刷
- ↓
- ④ バーコードを本に貼付
- ↓
- ⑤ バーコードのパソコン入力

学校図書館の蔵書のデータベース化

◆データベース化未実施校で業務委託、一斉導入された場合のメリット

ソフト面

- 教員、ボランティアの協力が不要になり負担が減る。
- 学校図書の貸出、返却作業が簡単に行えるため、子供たちがさらに図書室を活用する。
- 子供たちの読書傾向を把握できる
 - 個に応じた読書指導が可能
 - 新しい図書の購入への活用
- 図書委員会の活動が活発になる。
- 学校図書室の質の向上。

ハード面

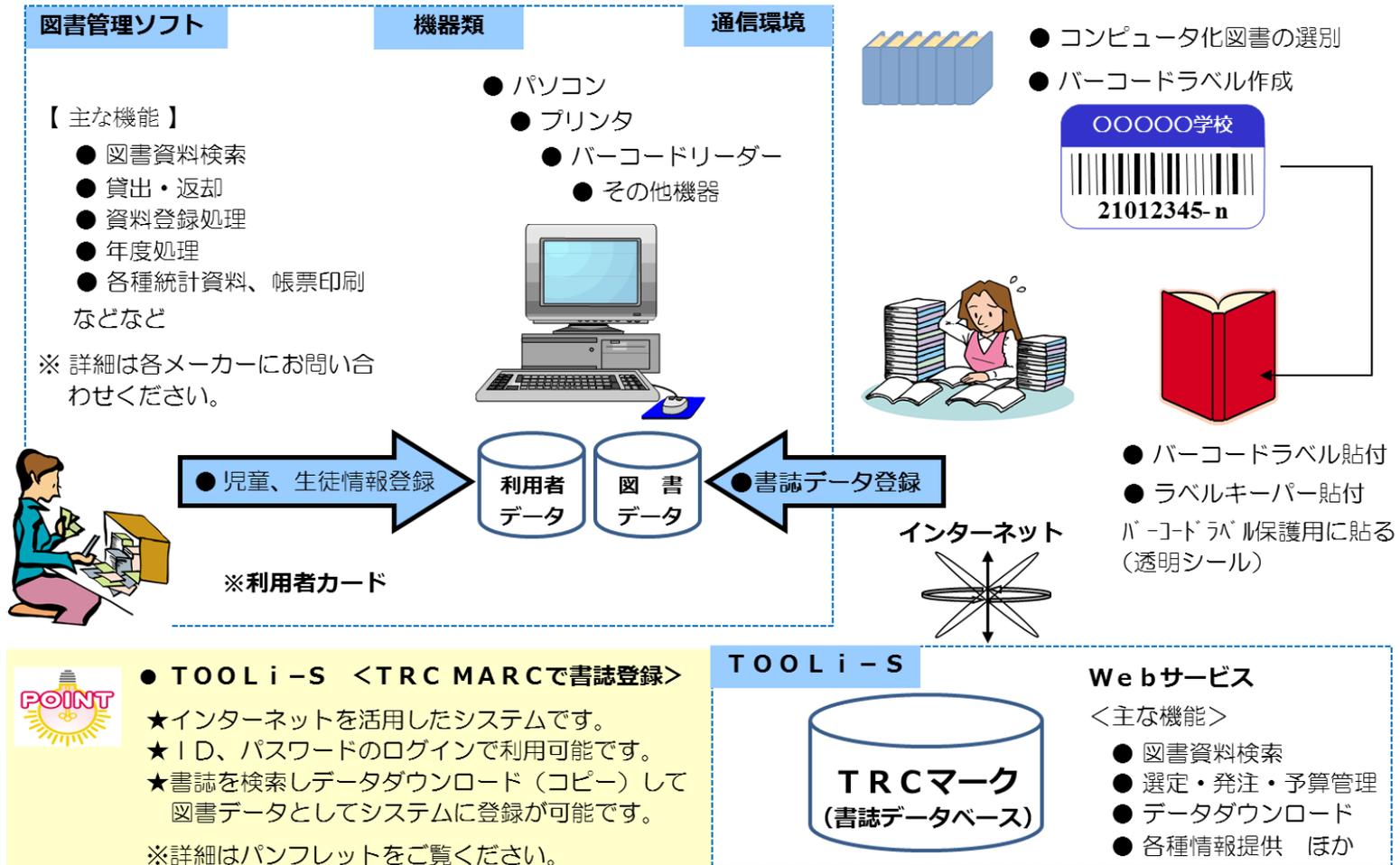
- 蔵書の管理が容易になる。
- システムトラブルやデータ更新など委託会社が対応。
- 調べ学習の際、学校図書にある本の検索が可能。
- バーコード管理による、個人情報漏洩防止。



<南田中小図書館貸出システム> <南田中小図書館「自由研究おたすけ本」コーナー>

学校図書館の蔵書のデータベース化

参考資料:TRC社 学校図書館情報化のイメージ



学校図書館の蔵書のデータベース化

要望

- 練馬区全校への速やかな図書館の蔵書のデータベース化を強く望みます
- 蔵書のデータベース化、運営管理の業務委託を強く望みます

重点要望項目

子供たちの教育環境の充実のために
トイレ改修のスピードアップ化

トイレ改修のスピードアップ化

《資料1》法定耐用年数

減価償却資産の耐用年数表

別表第一 機械及び装置以外の有形減価償却資産の耐用年数表

種類	構造又は用途	細目	耐用年数(年)
建物附属設備	電気設備(照明設備を含む。)	蓄電池電源設備	6
		その他のもの	15
	給排水又は衛生設備及びガス設備		15
	冷房、暖房、通風又はボイラー設備	冷暖房設備(冷凍機の出力が二十二キロワット以下のもの)	13
		その他のもの	15
	昇降機設備	エレベーター	17
		エスカレーター	15
	消火、排煙又は災害報知設備及び格納式避難設備		8
	エヤーカーテン又はドア自動開閉設備		12
	アーケード又は日よけ設備	主として金属製のもの	15
		その他のもの	8
	店用簡易装備		3
	可動間仕切り	簡易なもの	3
		その他のもの	15
	前掲のもの以外のもの及び前掲の区分によらないもの	主として金属製のもの	18
その他のもの		10	

出典: 国税庁HP

練馬区立小学校全161系統

年6系統できたとして...

全系統を改修するのに
約27年掛かる!!

トイレ改修のスピードアップ化

《資料2》トイレ内汚染度

トイレ内糞便由来菌汚染度 (大腸菌数CFU/cm²)

〔2013年度第40回日本防菌防黴学会年次大会報告〕

〔2013年度空気調和・衛生工学会大会報告〕



洋式便器に比べて
和式便器の大腸菌は
150倍以上!!

測定条件・調査場所 / 某公立学校トイレ 湿式清掃と乾式清掃エリア

サンプリング箇所 / 和式便器まわりの湿式床、和式便器ブース前の湿式床、洋式便器下の乾式床、湿式床中央、湿式床トイレ入口

試験方法 / サンプリング箇所4cm²を滅菌綿棒でふき取り回収した。回収した細菌は大腸菌検出用酵素基質培地にて36℃で48時間培養後に計測した。

*2012年7月 某公立学校での調査(TOTO総合研究所調べ)

トイレ改修のスピードアップ化

《資料3》東京都の洋式化予算

東京新聞 TOKYO Web

【社会】

都 トイレ洋式化加速 駅や学校 新年度予算37億円

2017年1月8日 朝刊

高齢者や障害者など誰もが使いやすいトイレにするため、東京都は、都内の駅や公園、学校など公共施設のトイレの洋式化を加速させる。小池都知事は7日、2017年度予算案に、前年度比約30億円増となる37億6700万円の事業費を盛り込む方針を明らかにした。

たくさんの外国人旅行者の来訪が見込まれる20年東京五輪・パラリンピックでの「おもてなし」も見据えた取り組みで、会場周辺の施設での整備にも力を入れる。

都営地下鉄は28駅、都立学校は272棟で、トイレを和式から洋式に順次改修する。区市町村には補助金を出し、庁舎や公民館、小中学校での洋式化を後押し。五輪・パラリンピックに向けては旅館やホテル、会場周辺の民間鉄道の駅も対象とする。

小池知事は「しゃがむのがつらい高齢者の方など、誰もが優しさを感じられるまちづくりのひとつとして着実に進めたい」と述べた。

都は20年度までに、都営地下鉄の駅の9割、公立小中学校の8割のトイレを洋式化するなどの目標を掲げている。

◇トイレ洋式化の施設と予算額

都営地下鉄の駅 11億8100万円

民間鉄道の駅 1400万円

都立公園 3500万円

都立の文化施設 1900万円

都立学校 8億7200万円

区市町村の庁舎や公園 2億円

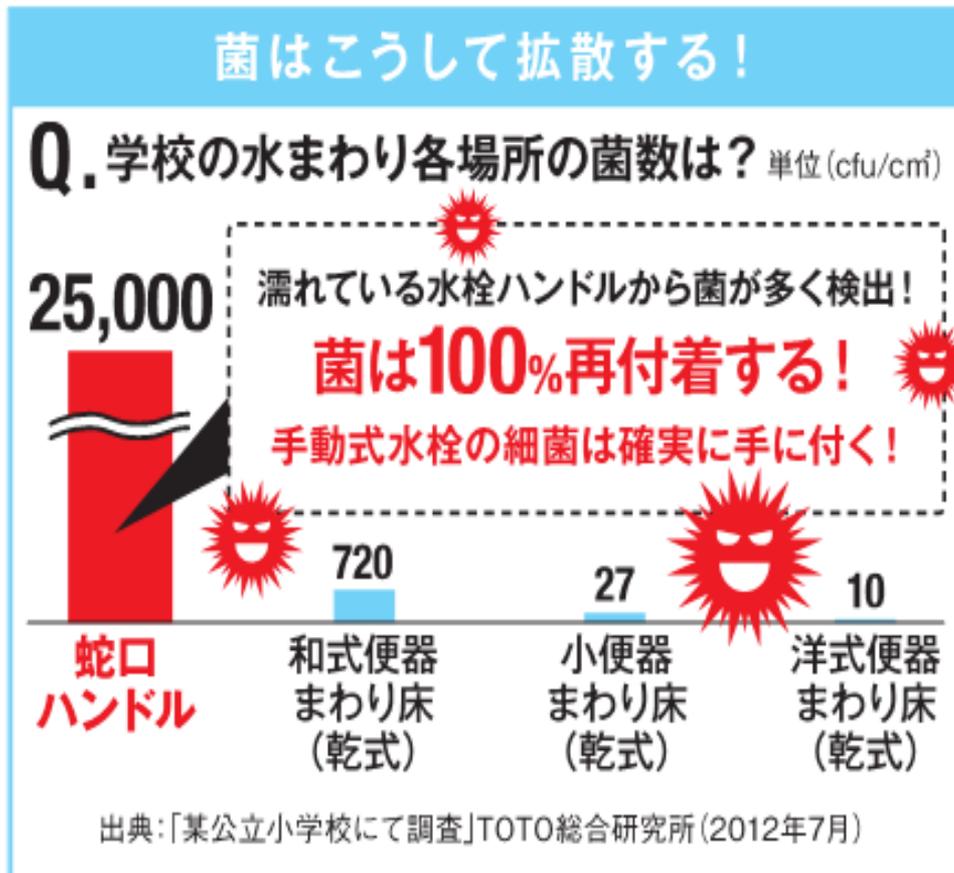
区市町村立の小中学校 13億2600万円

旅館・ホテル 1億2000万円

合計 37億6700万円

トイレ改修のスピードアップ化

《資料4》手動ハンドル汚染



《資料5》節水効果

手動ハンドル



1.9L/回



自動ハンドル

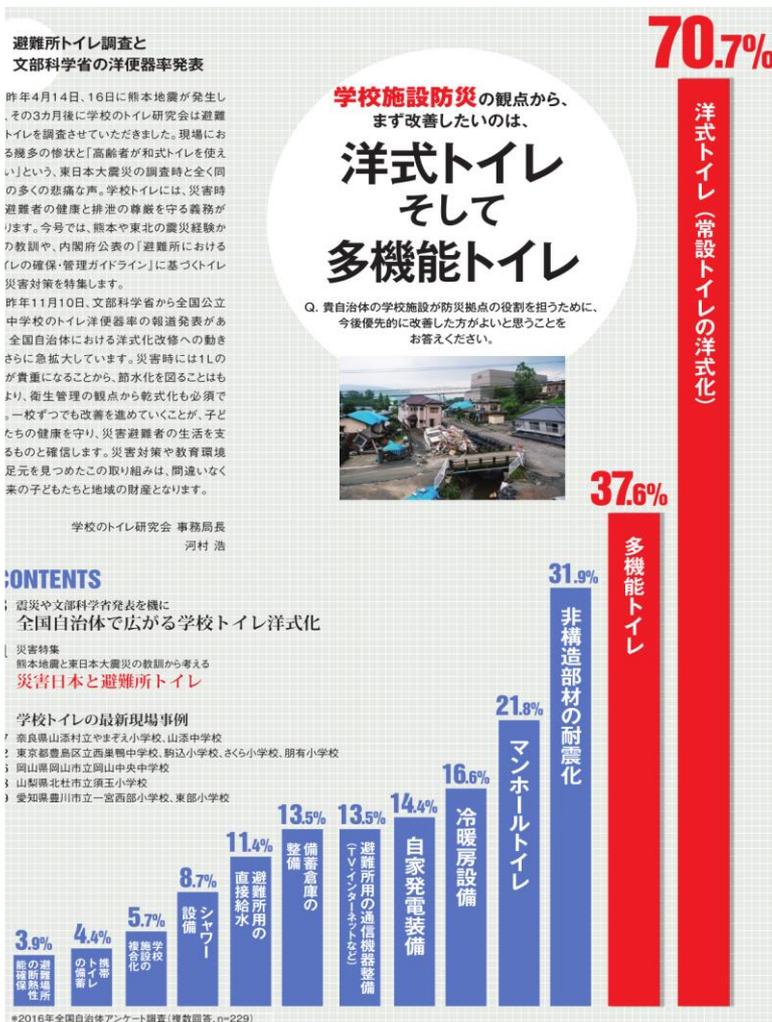


0.47L/回

出典：TOTO HP

トイレ改修のスピードアップ化

《資料5》災害時トイレ



出典：学校のトイレ研究所2017年第20号

トイレ改修のスピードアップ化

要望

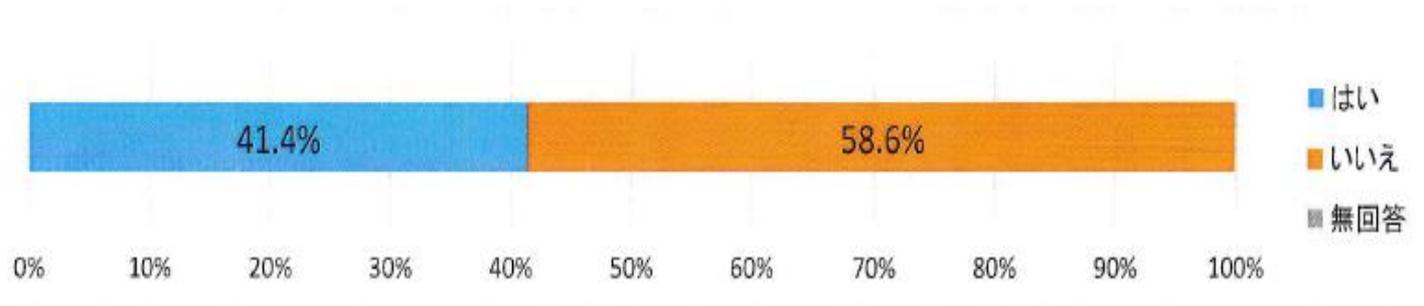
- トイレ改修のスピードアップ化
- トイレの洋式化
- 水栓ハンドルの自動水栓化
- バリアフリーストイレ、多機能トイレの導入

重点要望項目

子供たちの教育環境の充実のために
体育館への冷暖房設備等の設置

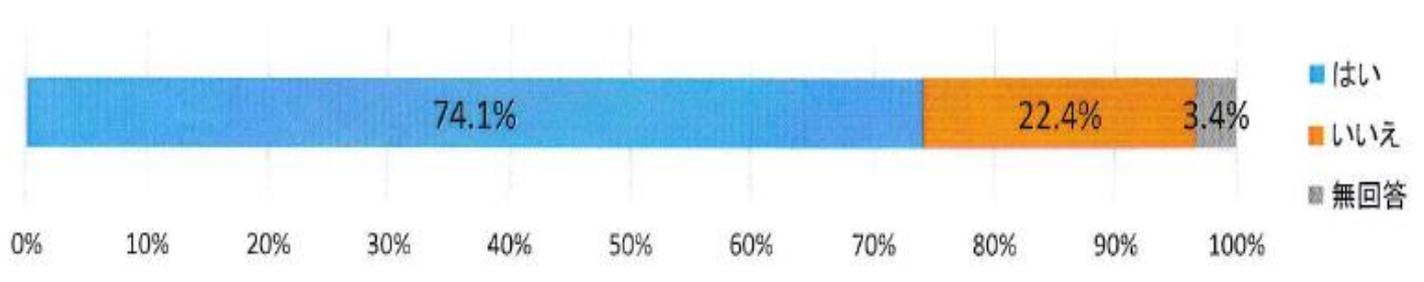
体育館の冷暖房設備導入

最近(例えばここ2~3年)体育館内において、小学生が熱中症になったり、気分が悪くなったりしたことがありましたか？



出典：平成 28 年 7 月 予算委員会アンケートより

5、体育館に冷暖房は必要と感じますか？



出典：平成 29 年度予算要望に向けたアンケートより

体育館の冷暖房設備導入



体育館の冷暖房設備導入

公立大型体育館860㎡の場合

【全体対流式空調システム】※従来システム

- ・イニシャルコスト ※電源工事は除く
概算費用:220,000,000円
- ・ランニングコスト ※1時間あたり
約5,000円



イニシャルコスト大幅ダウン！

ランニングコスト大幅ダウン！



【ハイブリッド型輻射式空調システム】

- ・イニシャルコスト ※電源工事は除く
概算費用:34,000,000円
- ・ランニングコスト ※1時間あたり
約2,500円以下

【輻射式空調システム】

- ・イニシャルコスト ※電源工事は除く
概算費用:100,000,000円
- ・ランニングコスト ※1時間あたり
約400円以下

体育館の冷暖房設備導入



詳細はコチラ

125cmビックファン BF-125V

¥64,700税別

風到達距離 15~20M前後



体育館の冷暖房設備導入



顔マーク表示でわかりやすい！



本体サイズは
幅930×高さ360×奥行き75mm、
重量は約10kg。
AC100V動作。
価格は9万9900円。

体育館の冷暖房設備導入

要望

体育館に冷暖房設備を設置することを
強く望みます

重点要望項目

子供たちの命を守るために
非接触型登下校メールの導入

非接触型 登下校メールの導入

登下校メールとは

非接触型登下校メール「ミマモルメ」の場合



校門くぐれば
メールでお知らせ



児童が校門を通過すると、
登録アドレスにメールが送られます。

(出展: 阪急阪神東宝グループ「ミマモルメ」ホームページより)

非接触型 登下校メールの導入

登下校メール導入状況(東京／関西地区)

東京都 公立小学校

区・市	導入校数	導入率
台東区(19校)	19	100%
目黒区(22校)	2	9.0%
世田谷区(63校)	8	12.6%
練馬区(65校)	1	1.5%
東村山市(30校)	1	3.3%
西東京市(19校)	8	42.1%

練馬区ではわずか1校のみが

独自に導入

利用料金は保護者の自己負担

関西地区 公立小学校

大阪府	導入校数	導入率
自治体による導入(市内100%導入)		
箕面市(14校)	14	100%
高槻市(41校)	41	100%
他 8市		
各校による導入(市町内100%導入達成)		
大阪狭山市・泉北郡忠岡町・三島郡島本町		

兵庫県	導入校数	導入率
西宮市(41校)	41	100%
尼崎市(40校)	40	100%
神戸市(164校)	142	87%
宝塚市(24校)	19	79.1%

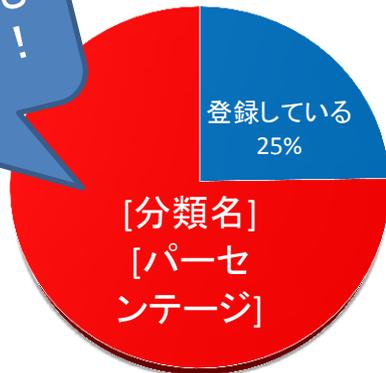
出典: 登下校ミマモルメ・2017年度

非接触型 登下校メールの導入

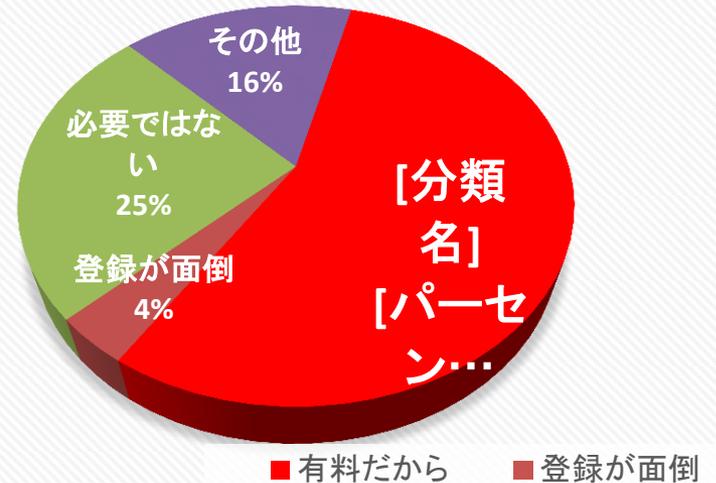
練馬区 唯一の導入校での保護者アンケート

せっかく導入しても
登録は1/4だけ！

登録状況



登録していない理由

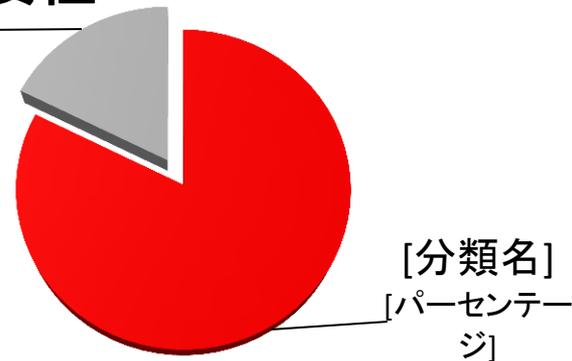


無料の場合の必要性

無料でも必要
ない
18%

「無料でも登録しない」理由

- ・学童クラブであんしんメールを登録している
- ・ほぼ毎日保護者が送迎している
- ・学校から家が近い



非接触型 登下校メールの導入

練馬区で導入されている登下校メールシステム



ねりまキッズあんしんメール

学童クラブ ねりっこクラブへ

行ったら端末にピッ!

とかざします。



利用保護者からのアンケートによるデメリット

- ・吊り下げ型の為、名前など個人情報が露出
- ・紛失の心配
- ・**かざし忘れ →余計に不安に!!**
- ・**端末が混雑する**



ねりまキッズあんしんメール

運用費用

現在練馬区全学童クラブ等100か所で

年間1.400万円

非接触型 登下校メールの導入

緊急メール連絡網サービスの利用

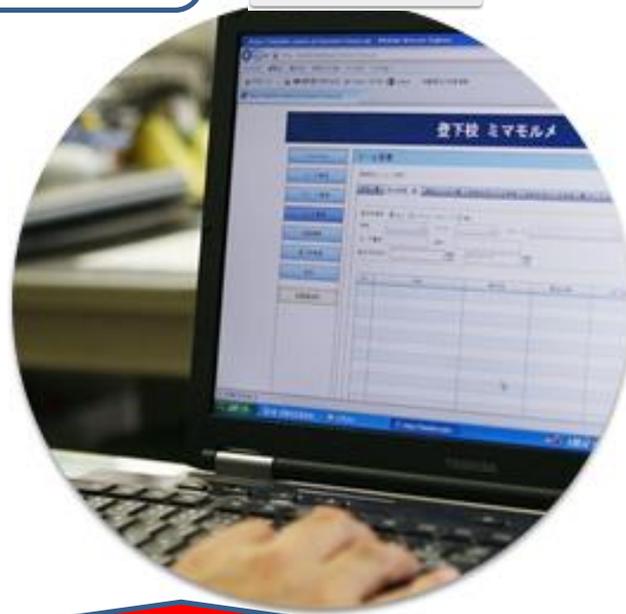
学校からの連絡事項をメール送信し、迅速かつ確実に情報を保護者に伝えるサービス。

無料で付帯

¥0

例)

- ・緊急時の登下校情報
(警報発令時の登下校時間変更、学級閉鎖等)
- ・不審者情報等の安心安全に関する情報
- ・行事のお知らせ
(運動会のお知らせ、校外学習時の帰宅時間等)
- ・PTA活動についての連絡
- ・日常の連絡(持ち物の確認、申込書の締切確認 など)



↓
クラス連絡網の役割を代替。

個人情報 聞き出し事案の
防止に！



非接触型 登下校メールの導入

要望

子供たちの登下校の状況を把握することは
保護者の安心につながります。

「タッチ」の必要のない非接触型の登下校
メール導入を強く要望致します

重点要望項目

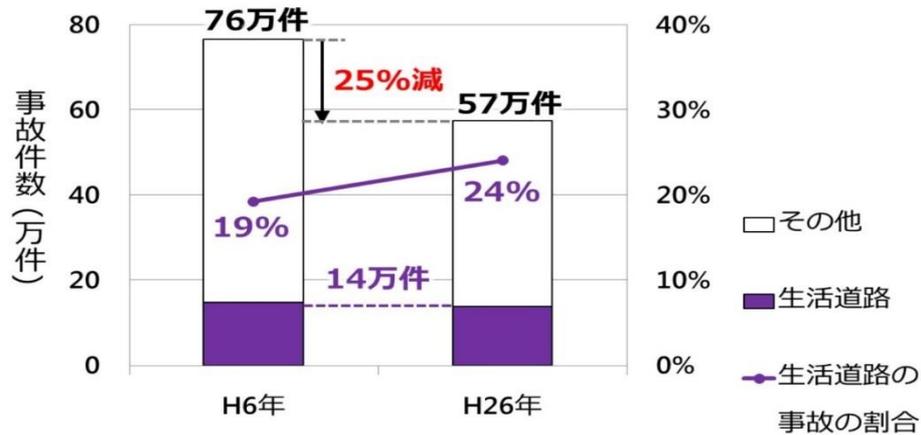
子供たちの命を守るために

スクールゾーンの土曜授業日規制対象化

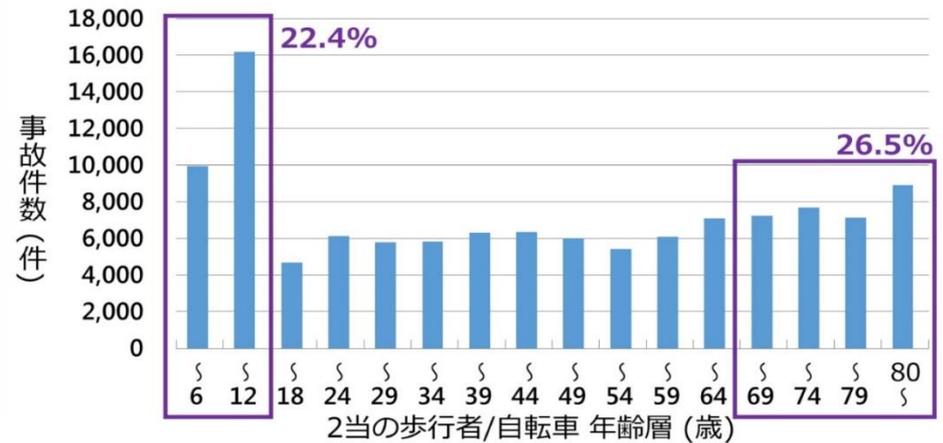
スクールゾーンの土曜授業日規制対象化

《資料1》

全交通事故の発生件数



生活道路における事故件数 (H2年 ~ H26年)

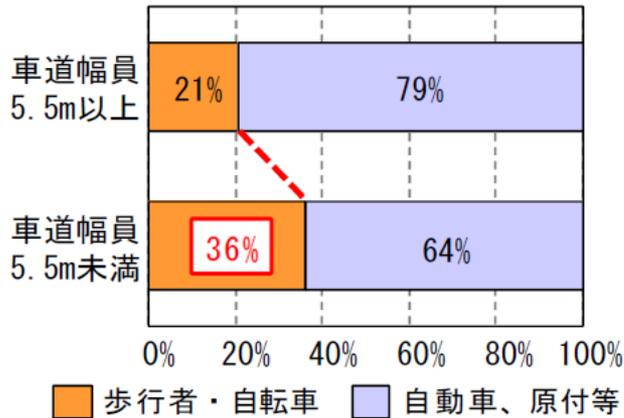


出典：（公財）交通事故総合分析センター

スクールゾーンの土曜授業日規制対象化

《資料2》

車道幅員5.5m未満の道路では、歩行者・自転車の事故の割合が大きい。



図：幅員別の当事者別負傷者数の割合(H21年)

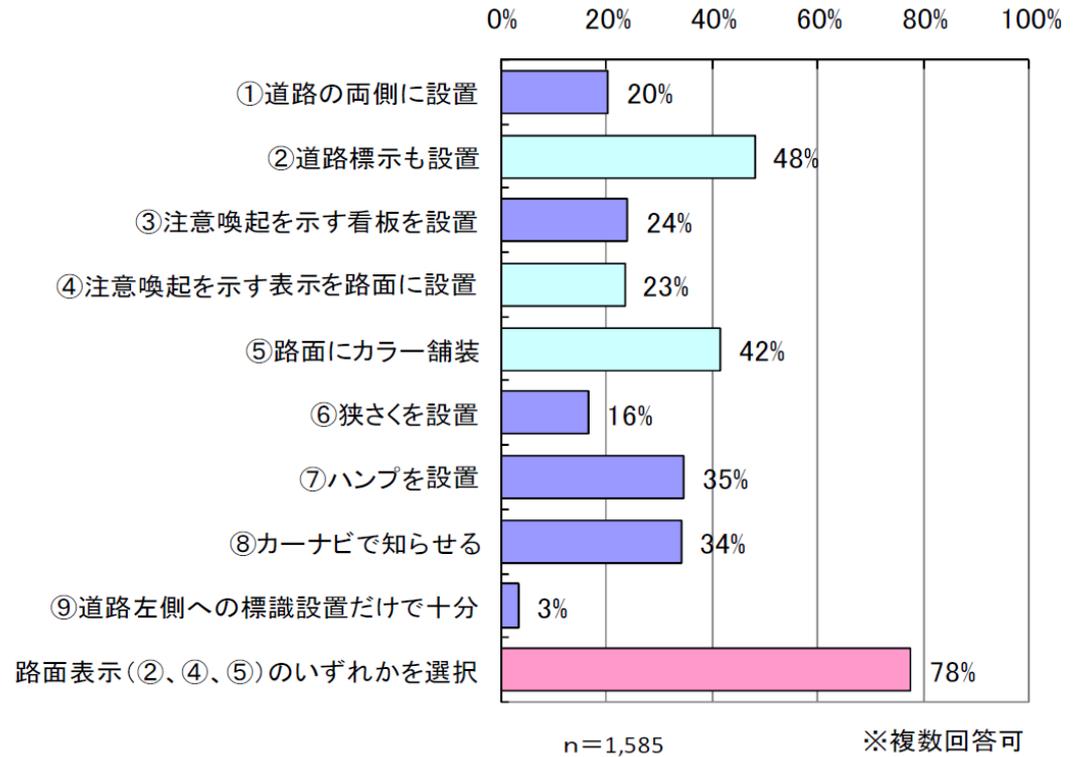


図 8-1 効果的なゾーン入口の明示手法

出典：生活道路におけるゾーン対策推進調査研究検討委員会

スクールゾーンの土曜授業日規制対象化

《資料3》 スクールゾーンにおける現状と今後の安全対策

路上ペイントの不備チェック



道路の整備



学童擁護員の増員



登下校メールの導入

要望

第2土曜登校日（年8回）における、
スクールゾーンの規制対象化を早急に
要望します。